

お盆いろいろ

定光寺 乙川文英
令和六年八月二十一日 加茂法話会

新盆

御精靈様迎え

いつ、誰を、どうで、どうやって迎える？

棚経

精霊棚？仏壇？

「発心して一器の淨食を奉持して… 一切の餓鬼に施す。先亡久遠山川地主乃至曠野の諸鬼神等、請う来つて此に集れ。我れいま悲愍して、普く汝に食を施す」

「盆の棚経とは、帰つてくる御先祖さんを対象にしたモノではなく、餓鬼道で苦しむ餓鬼たちに飲食を施して功徳を積むという行事であり、餓鬼の姿は人の目には見えないにも関わらず、人から「どうぞおあがり」と許可を得たものしか飲み食いが出来ないし勝手に食べようとすると食事が火を噴いて喉を焼くので常に飢えと渴きに苦しむとされるが、その餓鬼達に「普段は大変だろうけどこれでもおあがり」と食を施すのがメインである。餓鬼が家の中に入らないように外に棚を設けて「この家の人がお前達に施してくれるの、ここでなら食事をしても良い」と食事の許可を与える為に棚を拝んで、アクティベート作業をしていくのが棚経である。」（※一）

アクティベート＝有効化、活性化

御精靈様送り

いつ、どこで、どうやって送る？

振り向かぬ子を見送れり振り向いたときに振る手を用意しながら
(俵万智『たんぽぽの日々・俵万智の子育て歌集』)

